

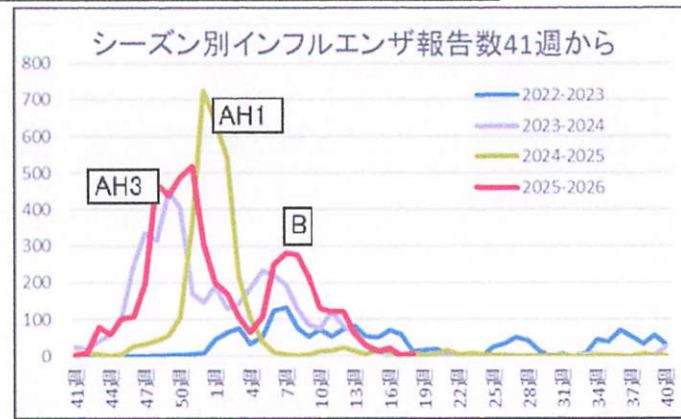
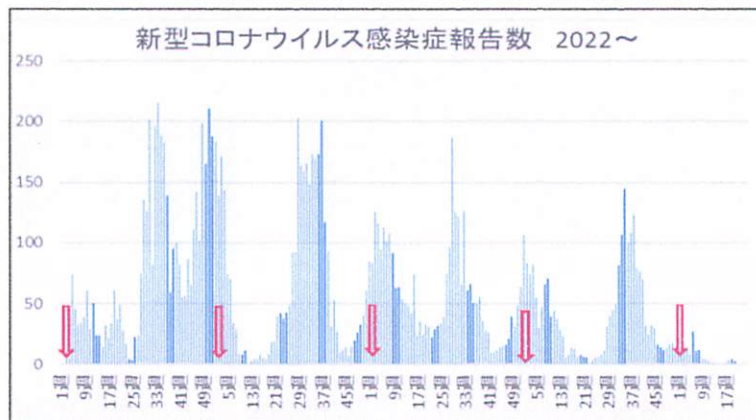
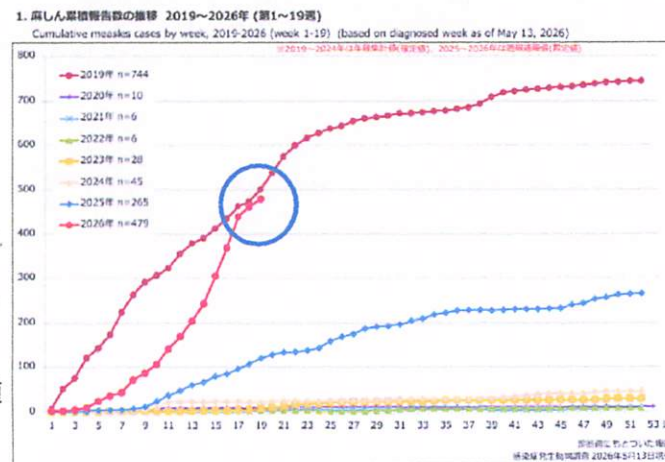
# 週間感染症情報

2026年19週～20週 2026年5月4日より2026年5月17日まで

19週 20週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	2	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		1
溶連菌感染症	5	15
手足口病		1
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	1	
感染性胃腸炎	27	48
ロタウイルス(再掲)	1	
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症	1	2
ヒトメタニューモウイルス	1	2
インフルエンザ	5	0
インフルエンザ A	0	0
インフルエンザ B	4	0
新型コロナウイルス感染症	5	3

2週間分の報告です。インフルエンザ注意報は5月12日に解除されました。インフルエンザB型の散発例の報告があります。新型コロナの報告は数例程度で、心配された冬の流行の山はありませんでした。鑑別診断での発熱患者への対応は必要です。百日咳は市内小学6年生です。3例ともワクチン接種完了しています。咳が強く長引く例は百日咳も鑑別に入れる必要があります。市内全域で、溶連菌感染症が増えています。細菌性胃腸炎の報告もあります。発熱・腹痛・血便があれば便培養が必要です。右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2026年は19週までに479例と急増しています。多くは、ワクチン未接種や不明の症例です。2024年、世界で47万例の報告があり、9万5000人が亡くなっています。麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。1歳と年長になったら、すぐにMRワクチンを接種しましょう。2回の接種歴があれば、まずり患しません。自施設関係者のワクチン接種歴・抗体価を確認して、必要な場合はワクチン接種を勧めましょう。熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )